●コロナ禍における前期決算及び直近の業況について

前期は本業を示す経常利益は黒字でした。弊社の決算は６月ですが、コロナ禍である特に４、５、６月期は、経済産業省から出されている統計、いわゆる「特サビ」によると、結婚式場業は業界全体の売上は前年比 8%、2%、6% と大きく下回りました。また葬祭業は 77%、76%、84% とこちらも厳しい状況でしたが、このような業界が厳しい中でも弊社は黒字決算で終えることができました。
またコロナ禍にも拘らず現預金は増加しております。コロナ禍による婚礼部門の最悪のシミュレーションでも現預金には影響ないと判断し、今回政府のコロナ対応制度融資も利用いたしませんでしたが、１月末現在、現預金に関しましては前年同月をさらに 45.000 千円上回っております。
また向こう３年間に渡る各部門の改善が急速に進んだおかげで、弊社は婚礼においては長年 30% の低い契約率が 50% 超、葬祭部門が２月よりコロナ禍においても急激に売上アップいたしております。これら一連の急速な改革をコロナ禍がない前提で計算しますと当期以降は毎年経常利益 20% 超と、本来弊社は超高収益の企業体へと急成長する予定でした。
ただ前期はコロナ禍が数年に渡り影響を及ぼす可能性から、決算期にはこちらを見越して従来高度成長の可能性を考えて繰延税金資産を多く見積もっておりましたが、こちらの見通しを当期中に大きく変更したがよいと考え、当期は大きく見直し（マイナス計上）いたしていたしております。この繰延税金資産の額が -91,645,000 円。従いまして当期利益は -85,672,109 といたしました。こちらは将来見通しで計算する計上ですので、当期の本業とは全く関連しませんが、弊社が唯一決算公開している官報公告には簡易型の B/S のみを公開していた為に経常利益を公開しておらず、当期利益のみの公開であったため、本業がコロナ禍の影響を受けていると誤解を生じないいうに、ここであらためまして現状につきましてのご報告をいたします。

また直近の業況ですが、上記ご説明の通り弊社は３月より本来毎月多くの新郎新婦様のご結婚に携わる予定でしたが、事情によりまして延期を余儀なくされる新郎新婦様が多くいらっしゃるのが現状です。したがいましてまだ今期の予想を確定できる状況ではございませんが、契約に関する状況は確定データとして公表できます。今回こちらの現状をデータで集計いたしましたのでご参考までにご覧いただければと存じます。

また一方こちらも列席者数の減少でコロナ禍の影響を受けている葬儀部門ですが、こちらはコロナ禍の逆風にも拘らず、この数年お客様への商品提供の幅を広げたこと、またアンケートから早急にお客様のご意見を反映する取組みにより、おかげさまで多くのお客様からのご支持をいただくことが出来、前年同期比で毎月大きく売上を伸ばしてきております。こちらの状況もデータで集計いたしましたのでご参考までにご覧いただければと存じます。

弊社はコロナ禍におきましていち早くお客様の安全と従業員の安全を守るため、できる限りの取組みを講じて参りました。今後も引き続き、コロナ禍で私たちができることを最大限に考えて取り組んで参ります。またこのコロナ禍のなか懸命に仕事に取り組まれておられる医療従事者をはじめとする皆様に心より敬意を表し申し上げます。

株式会社サンセレモホールディングス　代表取締役社長　平田義孝

前期（R2年度）の会計決算について

コロナ禍において本業は黒字でした。ただし今後の計画見通しを大幅に修正し、繰延資産計上を大幅に変更し、先んじて今期マイナス計上しました。

売上高 842,110,861

売上原価　265,697,828

販売管理費計　614,334,896

営業外収益合計 107,193,392

営業外費用合計　62,741,138

本業を示す利益はこちらになります ▶

経常損益金額　6,530,391

前期は繰延税金資産を特別に計上したため当期利益はマイナスといたしました▼

法人税等調整額
（全て繰延税金資産）　- 91,645,000

当期損益　- 85,672,109

現預金の推移

コロナ禍含めて現預金は堅調に推移しております。
コロナ制度融資含め直近は特に新規の借入をいたしておりません。

H30/6 末 BS 現預金
218,462,699

R1/6 末 BS 現預金
251,410,095

前期決算

R2/6 末 BS 現預金
285,617,206

葬儀部門

新体制後の経過

コロナ影響大（人数、件数）

コロナ影響（人数）

月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
			売上 12%UP					売上 14%UP	売上 15%UP	売上 33%UP	売上 24%UP	売上 53%UP ※1/26 現在
前年売上	39.326	48.668	52.675	48.935	40.646	46.762	55.336	35.500	36.825	32.636	47.211	32.954
今期売上	53.848	55.211	60.406	50.110	33.637	61.465	49.843	50.142	54.893	48.559	58.698	50.532 ※1/26 現在

●いわゆるファーストコロナ期
業界全般は特に 4、 5 月期は前年売上の 3/4 ほどと厳しい状況でしたが、おかげさまで
弊社は 2-7 月期のいわゆるファーストコロナ期は前年比売上 12% up でした 。

売上、施行件数、収益全て急拡大しています

※弊社は施行件数、売上内訳などの詳細につきましては
経営ノウハウとして社外秘とさせていただいております。

婚礼部門
契約率の推移

※契約率とは施行契約件数 / 来館件数を指します。
弊社は施行件数、来館件数ともに社外秘としているため、ここでは契約率のみの公開とさせていただきます。

H30 年度	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	
婚礼契約率	22.2%	37.5%	18.5%	42.1%	27.8%	50.0%	37.9%	34.6%	38.9%	41.2%	46.2%	46.7%	35.7%
							上期 31.2%					下期 39.8%	

R1 年度	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	
婚礼契約率	47.8%	36.4%	63.6%	20.0%	70.6%	64.7%	53.8%	75.0%	41.7%	60.3%	休館	休館	53.9%

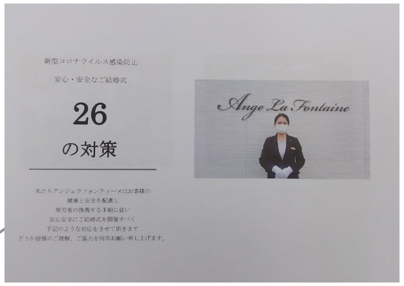
R2 年度	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	
婚礼契約率	60.0%	75.0%	77.8%	42.1%	66.7%	50.0%	53.8%	現在					60.0%

急速に改善が進み高い契約率を維持しています

H25	H26	H27	H28	H29	H30 前	H30 後	R1	R2
30%	30%	30%	30%	30%	31%	40%	54%	60%

弊社は新型コロナに対する対応にいち早く取り組みました。
結果、婚礼部門は現在キャンセル２件、また葬儀部門は組織改革前もあり年同期比売上 UP しております。

▶ 新型コロナの弊社初期対応について（主なもの）



R2.2.10　新型コロナウイルスによるキャンセル防止対応を婚礼部門に指示
R2.2.12　新型コロナウイルス対策幹部会議
　　　　　具体的な対策（社内体制、感染防止対策）を取り決める

R2.2.28　徹底のために社内通達「感染症対策に関する通達」を全従業員に発令

R2.3.27　新型コロナウイルス対策婚礼部門社長 MT
R2.3.28「アンジェラフォンティーヌ 26 の対策」説明、配布開始
R2.4.1　新型コロナウイルス対策幹部会議
R2.4.6　社内通達「新型コロナウイルス に関する通達」発令
R2.4.7　新型コロナウイルス対策幹部会議
R2.4.8　社内通達追加「新型コロナウイルス に関する通達（追加）」発令
R2.4.9　厚労省ガイドライン「新型コロナウイルス感染症対策の基本方針について」発令
R2.4.17　祭礼グループ新型コロナ受入対処策（病院、保健所、火葬）発令
R2.3.29　アンジェラフォンティーヌ臨時休業検討
R2.4.10　アンジェラフォンティーヌ臨時休業指示　同日社内通達、各関係各位にお知らせ、プレスリリース
R2.4.13　新型コロナウイルスによる営業活動一時停止に関する通達（訪問活動など一切を禁止）
R2.6.17　第２派（秋口キャンセル防止対策）婚礼セパレートプラン作成指示
R2.6.22　セラレートプラン説明開始

※この間祭礼グループは新型コロナによる人数減への対応策として料理の代替品として引出物販売、また会葬返礼品の商品強化など顧客需要変化に即座に対応する。その他各種商品のラインナップを大幅に拡大し、２度に渡り商品カタログなどの大幅変更を行った。